

い  
ろ  
ろ  
新  
丸

# 小兒丸

かんむりぐすり  
一まんぢうむくわいのるん 一あづきさ  
、げ其外豆るん 一鹽かふさのもの 一香を  
きもの 一油るん 一大魚るん 一す 一さけ  
一もち 一しろ 一たこ  
其外生もの 一さ 何よらす初物等を禁む

## 禁止物

抑も此丸薬ハ予が祖先平群の大免武内宿禰の秘方よ  
て即ち應神天皇陛下御幼穉の時御多病ニ付臣宿禰が  
屢々此小兒丸を用ひて殆ど妙効あり依て祖先傳來の禁  
方なり小兒脾疳よて腹えり氣ぶとやうよして氣短く食  
事を好く或ハ不食鼻とせ、り爪とせかえ炭とせかえ或ハ壁  
土とせかえ鹽からきものかうばしきとせすき大便下り或ハ  
鼻の下赤くよだれをながし或ハ腹いたし熱往來やせつ  
よくきげんいしき等の諸症  
一青便吐乳驚風搖蕩の諸症或ハ亦小兒夜をさする症  
一口吃り口唱斜る諸癩症  
一大人かん高ぶり夜ぞへいす諸症或ハきぶんぬきがり  
物あんじいたし或ハ氣かふくるしきれいづきなぞい  
たす症丸薬さゆよて小兒壹ぶく中人貳ぶく大人參ぶく  
つ、毎日用ゆべし  
右丸薬ハ患者診断之上授與す

泉州疳醫祖

武内南溪

内務省免許内外科醫

和歌山拾壹番丁 耕文舎 印行

小兒丸 文庫10-8026-4

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

